

交差点



共にいきいき市民のつどい

昨年12月7日に「共にいきいき市民のつどい」を中央公民館講堂で開催しました。今年度は、詩人で社会学者の國學院大學経済学部教授の水無田氣流さんを講師にお迎えし講演いただきました。著書である「居場所」のない男、「時間」がない女をテーマにした講演の中から一部をご紹介します。

○日本の男性は孤独である

日本の男性は、仕事以外の人間関係が極端に乏しく、「世界で一番孤独」とされています。幸福度でみると男性は女性よりも低く、孤独死も自殺数も多いのです。地域社会や家族など人間関係に乏しい「関係貧困」です。

○日本の女性は忙しい

女性は、仕事をし、家事、育児にも時間を取られるため、一日の総労働時間が長く、睡眠時間が短い現状があります。特に45～49歳の女性は、世界一眠れていません。とにかく時間がない「時間貧困」なのです。

○お互いに気付いていない

仕事以外の交友関係が乏しく、ストレスを発散し、愚痴を言い合える相手がいない「関係貧困」の男性と自分の時間がなく、忙しいことを我慢する「時間貧困」の女性。お互いのことに気付いていません。

○働き方、暮らし方の見直し

今まで当たり前であった働き方や暮らし方、ケアのあり方を男女問わず考えなければ今後の生活の維持が難しくなります。日本社会

は、全体としての大きな分岐点を迎えています。

〈講演後のアンケートから〉

- ・今の男女の考え方や問題を改めて意識する事ができた。
- ・子育て世代のため、自分の事として捉えられた。
- ・女性活躍と叫ばれても、実際は難しい事がよくわかった。

男女共同参画社会づくりの事業にご参加ください

来年度も男女共同参画社会づくりを推進するための事業を開催します。

男女共同参画推進出前講座

男女共同参画社会づくりや健康に関する話など地域や団体、少人数の集まりにうかがって講座を行います。申請方法などは、お問い合わせください。

男女共同参画セミナー

今年度は5回開催し、20～80歳代の人にご参加いただきました。来年度のセミナーは回数を増やしてお金に関する事、心の持ち方、ハラスメントを予定しています。詳細については、交差点60号などで掲載し、募集案内をします。

男女共同参画川柳

入賞作品

今年度は17人、74作品の応募があり、厳正なる審査の結果、次の9作品が入賞しました。

最優秀

支え合う肩の力を少し抜き
中嶋 安子

優秀

参画で四角も丸く夫婦仲
樋口 春雄

優秀

次世代へ男女が繋ぐ善き絆
小林 富男

優秀

参画で明日への希望ともしあう
浅沼 富夫

佳作

何事も貴方と私半分こ
小林 裕子

佳作

共稼ぎ 妻の寝顔に感謝する
木鋪 善幸



ご意見、ご感想、お問い合わせ、男女共同参画社会について、身近な問題などをお寄せください。
人権・男女共同参画課（中野市人権センター内） 千383-0025 中野市三好町1-4-27

区における女性に関する参画状況調査を実施

市では市内全76区を対象に女性に関する参画状況調査を毎年実施しています。今年の調査結果の一部をご紹介します。

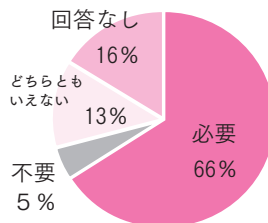
各区の事情や状況によって違いはありますが、男女を問わず、人選や選出には大変苦慮されているようです。

性別による役割分担意識を取り払い、男女が共に地域活動に参加できるよう、引き続き男女共同参画社会づくりにご理解、ご協力をお願いします。

女性の役員は必要だと思いますか？

単位：区

必要	50
不要	4
どちらともいえない	10
回答なし	12



～アンケートより～

- ・女性の視点から課題を提言できる。
- ・女性の区民の相談に乗りやすい。
- ・女性の意見を区政に反映させたい。
- ・男女問わず役員人材として必要。

女性への役職依頼について、支障になると思うことは？

(回答64区 複数回答)

女性役員は必要ない	0
他の役員の理解	5
家族の同意	23
今までの慣例	20
女性自身が消極的	40
支障はない	19
その他	4

～アンケートより～

- ・家庭内の用事が支障になっている場合が多い。
- ・一人だと嫌だということから、二人以上で選出することが必要になる。
- ・性別で役が決まっているので、前例がないものは断られる。
- ・男女問わず消極的。
- ・従前から男性を前提に仕組みができている面がある。

女性相談窓口から



「今、子供たちが危ない」といわれ始めています。「危ない」とは、交通事故・連れ去りとは異なり、虐待などの事柄を指しているのでしょうか。子供たちの未来を案じているようです。彼等に現れる現象は、大人社会の反映であり、未来を想像させるものでもあります。

かつてマザーテレサが来日した折、「街は清潔、経済も発展している。けれど人々は暗い顔をして足早に歩く。笑っていない。」と評しました。「画一化されない大人たち。その縮図である子供たちの状況に、申し訳ない思いが湧いてきます。

相談室には困難を抱えた親子がお見えになることがあります。お子さんの様子から社会の壁を感じることも多いです。言い古されていますが「子どもは宝」。生まれてきてよかったと思える大人になってもらいたい。

問われているのは、私たち大人なのです。

要予約

※面接を希望される場合は、

○相談時間 午前8時30分～午後5時15分

(祝日は除く)

○相談日 月々金曜日

○対象 市内在住の女性

○会場 中野市人権センター

☎(23)4810

■女性相談専門の相談員がさまざまな悩みの相談をお受けします。相談は無料です。秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。

佳作

キッチンに鼻歌まじりに立つ夫婦
清野 友幸

佳作

参画の広がり行けとボランティア
小池 市子

佳作

手際よくお皿洗う手大きな手
根岸 章子